ひよこ十月

朝晩は涼しくなり、秋の深まりを感じる季節となりました。発熱だけではなく、鼻水や咳、下痢など気温差から体調を崩しやすくなります。集団で過ごすことで家庭とは違った疲れも出やすくなりますので、心身の状態を考慮し、無理せずお子さんの体調に合わせてゆったりと過ごしていけたらと思います。子どもたちが元気に過ごせるよう、一人一人の体調に気を配りながら、無理のない生活を大切にしていきたいですね。



小さな秋みつけた！

暑い暑い夏も終わり、さわやかな秋風が心地よく、ベランダに出てのびのび活動をしています。歩けるようになった子は靴を履いて、ずり這いの子は柔らかい芝の上で遊んでいます。モビーカーに自分で乗ることがうれしい子ども達。はじめは後ろにしか下がれなかった子も少しずつ前に出ることがわかり始め、足の使い方を知ることで行きたい場所にいけることやクラクションを鳴らし嬉しそうに足や体を揺らす姿はかわいらしいですよ！また、暖かい日差しの中、ソフトマットで作られたアスレチックの斜面を上り下りしたり自由に探索する中で、トンボを見つけ「あ！あ！」と指さして知らせたり、近くで見て触りたいけどちょっと怖くてひゅっと手を引っ込めるなど、一人一人のかわいらしい反応や、声や表情などで様々な感情を表現する姿に日々成長を感じています。今後も、子どもたちの小さな発見を大切にしながら秋の季節を楽しんでいきたいと思います。



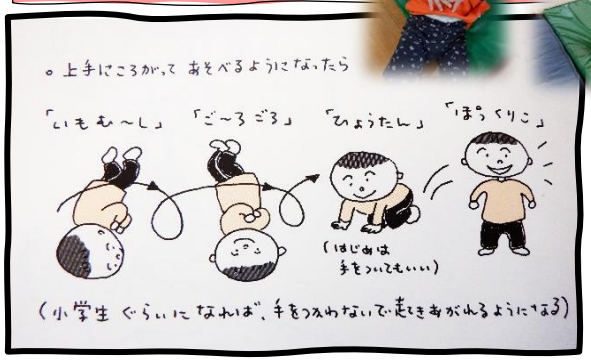





「いもむしごーろごろ」

子どもたちの中で、すっかりコミュニケーションの一つになっているわらべうた。わらべうたがきこえると急いで駆け寄り楽しい時間の一つとなっています。体の様々な部分を使うことができるようになり、はじめは、「ごろんごろん」と転がる姿から、手を挙げて「できた！」というように誇らしげに「ぽっくりこ」と起きあがり拍手し、達成感を感じる姿に成長！「いもむしごーろごろ」のわらべうたを紹介しますので、ぜひ、ご家庭でも楽しんでみてください。



もらうこと・あげること

友達の存在を意識するようになって、関わり合うようになると、一緒に過ごすことがうれしい子どもたち。同じおもちゃで遊ぶことが楽しく、「ちょうだい」といわれると「どうぞ」とおもちゃを手渡し、「ありがとう」と頭を下げる。そんな姿に心温まる瞬間があふれています。子どもたちは、日々集団の中で友達と過ごすことで様々なやり取りを通してたくさんのことを学んでいます。また、家庭や生活の中で経験したことを再現しようと見立て遊びをする様子も増えていますよ。





